

瀬戸内に建つ、400年の歴史

# 寺とも かわら版



# 徳成寺 とくじょうじ

第220号 2025年4月 発行責任者/住職・大山健児 坊守・大山ひとみ

## 歴史こそ、偉大な師



平賀源内さん

いつもありがとうございます。

住職の大山です。大河ドラマ「べらぼう」で、平賀源内さんが作中に登場し、俄かに脚光を浴びています。

かく言う私も、エレキテルの発明ぐらいしか知りませんでした。今で言う一級のインテリジェンスだったようです。

ドラマの中では、意外な一面も紹介されて、「本当!?!」と思うような事柄がしばしば登場します。

源内さんに限らず、ほんのうわべしか知らないで過ごしている事って多いですね。

なぜなら知らなくたって、暮らしには何も支障ないからです。ただ温故知新と申しまして、同じ暮らしにしても、その由って来る背景を知ると知らないでは、受けとめの厚みが違ってくるのは間違いありません。

温故知新は「<sup>ふる</sup>故きを<sup>たず</sup>温ねて新しきを」と読みます。ドイツのワイツゼツ

カー元大統領は、1985年に「過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目となる」と題した演説で、国民にナチス時代を直視するように求めました。歴史は、偉大な師です。

## お勤めって凄いい!

大山超世の耳を澄ませば

お世話になっていきます、副住職です。本山である東本願寺には各所に別院があります。四国は高知県に土佐別院があり、先月3/29には建立されてから百周年という節目の年を迎える事から大法要が勤まりました。

お経や正信偈が大きくなり、なつて響いてきて、初めてお勤めって凄いいと思いました。8年前、自坊に帰つてきてからというもののコロナ禍を経験して、コンパクト、必要最小限という事が是とされる中、人が集まる大切さを改めて感じました。

普段は高知県のお坊さんを中心に崇敬されているのですが、大きな法要なので運営スタッフとしてお手伝いを致しました。通常の法要とは異なり、四国中からお坊さんが集まったので、大体4〜50人くらいでお勤めをする事になりました。本山で法要が勤まる頃は大体忙しい季節なので、たくさんのお坊さんがお勤めをする姿を見るのはこれが初めてでした。

